

◆ 法人会員紹介

■ KEY - KILT LLC HOSPITALITY FFE

KEY-KILT LLCは、米国と中国に拠点を持つ家具専門会社、KeY International, Inc.と、川崎の工場で一貫生産体制を整えている創業76年の家具メーカー、株式会社キルト工芸による合同会社です。会社自体は設立して未だ1年の新しい会社ですが、既に親会社の共同プロジェクトは5年前より開始、その業績を引継ぎ発展を試みる、活気溢れた組織で運営しています。

主な業務では、ホスピタリティ空間のFFE製作、及びご要望に応じてはコーディネートもおこないます。国際的なネットワークと日本国内の熟練の技術をコラボレートしたサービス体制は、お客様の様々なご要望に対応しやすく、弊社の特徴でもあります。一つ一つの大切なプロジェクトの成功を望み、スタッフ一同、日々尽力しております。ご質問やお見積依頼など、お気軽にご連絡下さい。

KEY-KILT

担当 渡邊理恵

TEL 03-3431-0539

E-mail rie@keykilt.com



■ サイレントグリス株式会社

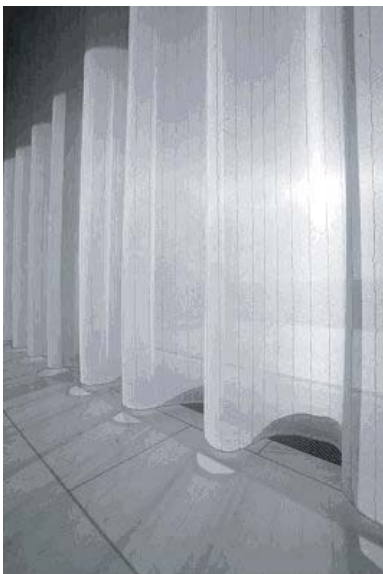
世界の建築家・デザイナーに支持されて50年 最新技術とサービスで信頼を誇る Silent Gliss

Silent Glissはスイスのウインドウトリートメントのトップブランドメーカーとして、世界14カ国に販売ネットワークを広げています。

絶え間ない技術革新と創造力でユニークな商品開発を展開し、世界各国で確かな実績を誇っています。

Silent Gliss製品はシステム化されたラインアップで、多様な要望に応える体制で皆様を支援します。

日本のサイレントグリスも信頼を築いて26年、これからも「新しい窓」の提案を続けてまいります。



サイレントグリス株式会社 (JIPAT担当 浪江)

本社 (東京ショールーム) 東京都新宿区坂町28 三廣ビル4F

TEL 03-3350-4809

FAX 03-3350-4334

大阪 (大阪ショールーム) 大阪府中央区本町4-1-7 第二有楽ビル6F

TEL 06-6266-7277

FAX 06-6266-7388

URL www.silentgliss.co.jp

E-mail salestokyo@silentgliss.co.jp

◆ 法人会員からのお知らせ

■ 株式会社トミタ 日本の美「KOZO」・「HANA」新作発表会のご案内

銀色に輝く海原に行き交う船が、蜃気楼のように浮かび上がり、季節の躍動を心に焼き付ける日々を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、この度、トミタ国際ブランドの「KOZO」「HANA」は共にvol. IVの新作発表会を催す運びとなりました。ここにご案内申し上げます。

両コレクションは、ジャパンコレクションとして四半世紀を迎え、皆様方には和の表現の一役を担ってまいりましたが、世界的にデザイン界では新たなる洗練された「日本の美」が求められています。vol. IVにおきましては、世界の「KOZO」・「HANA」として、銀座のステージにラインアップする運びとなりました。是非この機会にご高覧頂き、ベストセレクションとして加えて頂ければ幸いです。

日本の美 「KOZO」・「HANA」 新作発表会

日時：7月24日（木） 10:00～19:00

会場：ニコラス・G・ハイエックセンター14F
中央区銀座7丁目9番地18号

お問合せ先：株式会社トミタ
東京営業部 TEL.03-3273-7500
<http://www.tominet.co.jp>

KOZO

1200年の歴史の中で生まれ親しまれてきた和紙は、楮（こうぞ）の生い立ちと共に歩んできました。「KOZO」は、伝統と技術に支えられてきた日本の和紙を「世界の和紙」としてデザインしました



HANA

自然が折りなす四季の多様な情趣は、日本に独特な表現を育んできました。「HANA」は、伝統技術や自然素材を生かし、また、現代の新たな技法を加え壁装を作り上げます。



◆ 第14回通常総会・記念講演・交流会 開催レポート

第14回通常総会が平成20年5月16日（金）恵比寿のカシーナスパジオにて開催されました。

■ 通常総会

浦会長より開会の挨拶にて第14回を迎え、JIPATも次の段階へ踏み出すべく、新たな風として、新・会長 志村美治氏の紹介がなされました。議案書の承認等なされたのち、志村新会長より、新三役に、霜野副会長・寺本副会長・竹村副会長、濱専務理事が就任されたことをあわせて紹介がなされました。

皆さんの手前、かしこまっておりますが、体育会系・動きの早い実働派ぞろいです。

■ 記念講演

その後、池田木材株式会社・池田聡寿氏より、「泣いて寝た木をいかす」というテーマで記念講演会が行われました。400年以上の時を経た木を切るの意味。その木を伐採する時の最後の叫び。そして、その切株から芽生える次世代へ繋ぐ命。・・・わずか、高さ8センチ、幹の太さ5ミリ程度の新芽の檜が5年ものだということに驚き、生命の尊さをあらためて感じる講演でした。

■ 交流会

講演会のあとは立食にて交流会が行われました。

正会員・一般会員・法人会員が一堂に会する交流会ですから、会場は満員となり総会他イベントの最高潮を迎えました。実は、ここで盛り上がり新しい仕事生まれることも数知れませんが、会の半ばで新入会員が紹介されると拍手で迎えられ、すぐさま数多くの人と交流を求めていただけました。なかには名刺交換するのが今日がはじめてという新社会人の方もいて、いつにもましてフレッシュな交流会となりました。

